

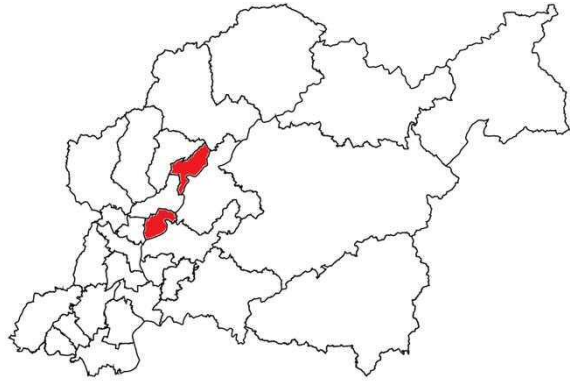
猿投台地域

自治力見える化カルテ (1/2)

地域概要 (地域の構造)

基礎データ (平成30年4月1日現在)

【位置図】



【地域特性】

猿投台地域は、一部地区を除き矢作川の右岸に位置する。総合計画では、一体的市街地誘導ゾーンに位置する地域と、都市近郊自然共生ゾーンに位置する地域により構成される。南西地区は、土地区画整理事業などで整備された住宅地と、土地改良事業で整備された農地、そして産業団地が名鉄三河線沿いに整然と立地している。また、中央で東西に北バイパス道路建設事業が進みつつある。北東地区にも工業団地があり、住居がある区域は市街化調整区域に位置付けられている。

面積	11.46 km ²	(1.2%)	[市 918.32 km ²]
人口密度	1,249 人/km ²	(270.3%)	[市 462 人/km ²]
人口	14,311 人	(3.4%)	[市 424,500 人]
男性	7,292 人	(3.3%)	[市 221,768 人]
女性	7,019 人	(3.5%)	[市 202,732 人]
うち外国人人口	320 人	(2.0%)	[市 16,327 人]
世帯数	5,820 世帯	(3.3%)	[市 178,410 世帯]
平均年齢	43.58 歳	(0.9歳)	[市 42.73 歳]

■人口

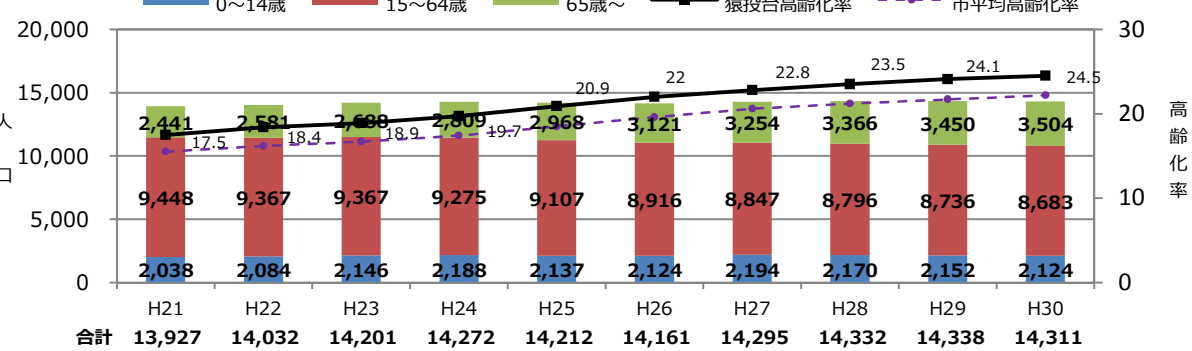
【年齢4区分別人口の推移】 (単位: 人、%)

	H25	H30	増減数	増減率
合計	14,212	14,311	99	0.7
0~14歳	2,137	2,124	△13	△0.6
15~64歳	9,107	8,683	△424	△4.7
65歳~	2,968	3,504	536	18.1
75歳~(再掲)	1,132	1,520	388	34.3
高齢化率	20.88	24.48	3.60	17.24

【人口動態】 (単位: 人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
合計	△51	134	37	6	△27
自然増減	48	64	34	33	25
社会増減	△99	70	3	△27	△52

【人口推移】



■自治区データ

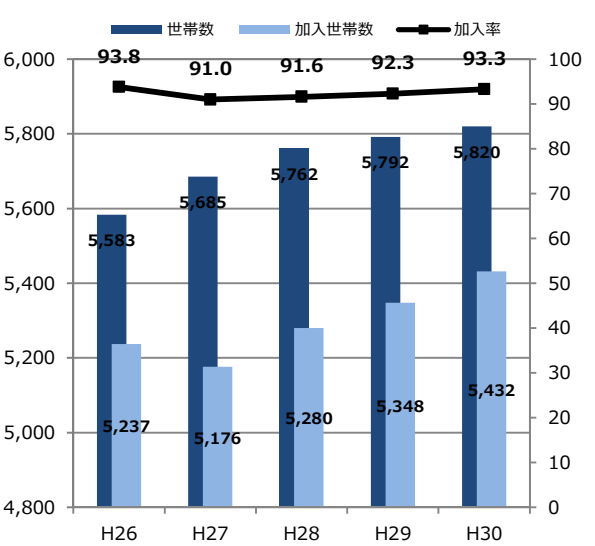
【自治区一覧】

自治区名	世帯数	自治区名	世帯数	自治区名	世帯数
平戸橋	49	枝下町	80		
花本	337	西広瀬町	132		
荒井	600	青木	517		
青木台	1,215				
平戸橋一区	1,031				
平戸橋二区	499				
中越戸	412				
下越戸	560				

【自治区加入率】

加入率	93.3 %	加入世帯数	5,432 世帯
[市 80.9 %]		住基世帯数	5,820 世帯

【自治区加入率推移】 (単位: 世帯、%)



地域自治

出典: H29地域自治システム評価アンケート

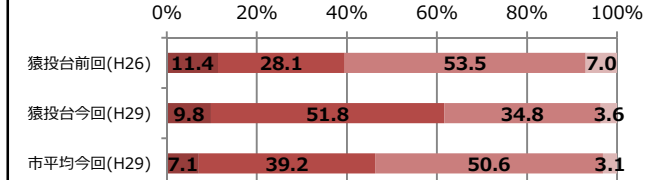
【地域課題】 (地域の課題認識が高い順)

課題・問題点の項目	猿投台	豊田市	差
交通安全対策の推進	57.1	53.9	3.2
豊かな自然環境の保全	48.2	40.3	7.9
生活道路・交通をスムーズにすること	47.3	45.4	1.9
広場、公園などの施設の整備	42.9	39.5	3.4
高齢者の生きがいづくりの場などの充実	41.1	38.0	3.1
住民同士の交流の場や機会の拡充	41.1	34.2	6.9
防犯対策の強化	41.0	40.5	0.5
医療の充実	40.2	47.2	△7.0
防災対策の充実	40.2	36.8	3.4
子育ての支援の充実	37.5	38.1	△0.6
公共交通機関の充実	36.6	44.3	△7.7
若年層の定住促進策の拡充	36.6	33.6	3.0
買い物の不便の解消	35.7	43.8	△8.1
郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生	34.8	32.0	2.8
空き家や耕作放棄地の対策の強化	33.9	32.8	1.1
福祉対策の充実	33.9	31.8	2.1
市街地の活性化と魅力づくりの推進	31.2	31.3	△0.1
鳥獣害対策の強化	25.1	28.9	△3.8
農業・農地を保全すること	21.5	26.2	△4.7
近所での働き口の創出	21.4	25.8	△4.4
観光によるまちづくりの推進	19.7	18.9	0.8

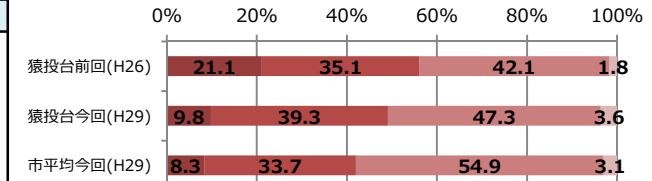
【地域自治システム認知度】

知っている 聞いたことはある 知らない 回答なし

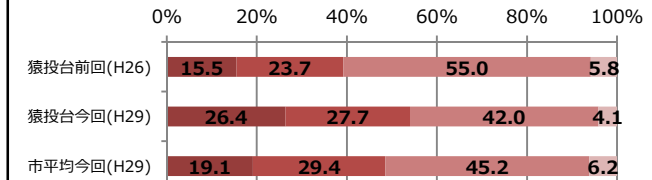
◎地域会議



◎地域のわくわく事業



◎地域の地域予算提案事業



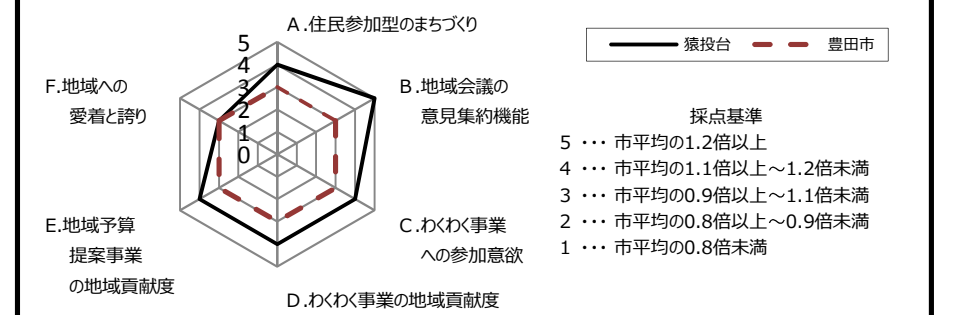
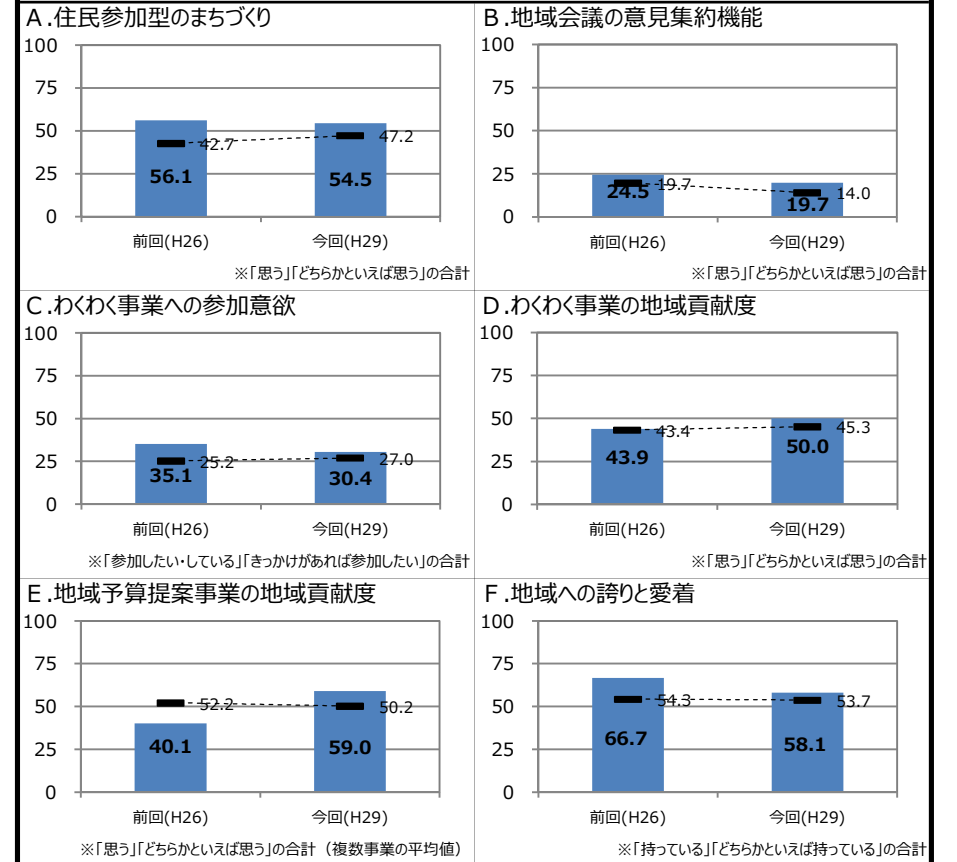
【コメント (地域概要)】

自然増が多く人口は増加傾向にある。住宅地が整備されてから長い年月が経っているため、高齢化率が市全体と比べ高い。郷土史や公園、交流、交通安全など長期間地域に居住する人にとって目に届きやすい項目の認識が高い一方、商業、医療は低い。わくわく事業に関わる人が多いが、地域会議や地域予算提案事業の認知度は低い。

意識 (アンケートから診る意識面の自治力)

出典: 地域自治システム評価アンケート

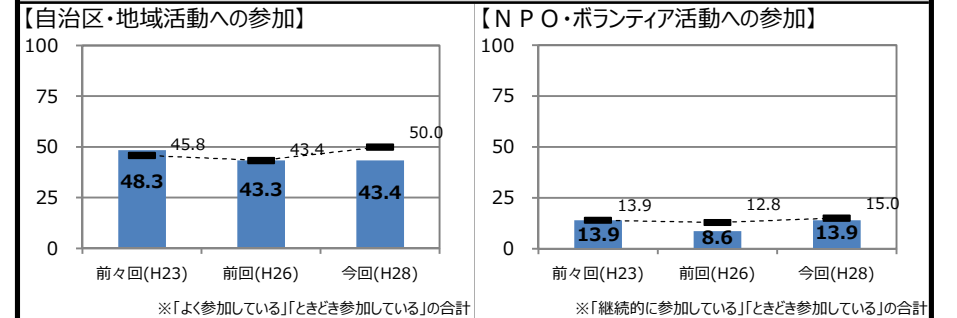
意識面自治力の推移 (レーダーチャート)



行動1 (アンケートから診る行動面の自治力)

出典: 市民意識調査

行動面自治力の推移



【コメント (意識及び行動1)】

・地域への愛着は強く、住民参加でのわくわく事業が盛んだが、地域貢献度はそれほど高くない。
・地域活動への参加率は高い方だったが、年々低くなっている。

